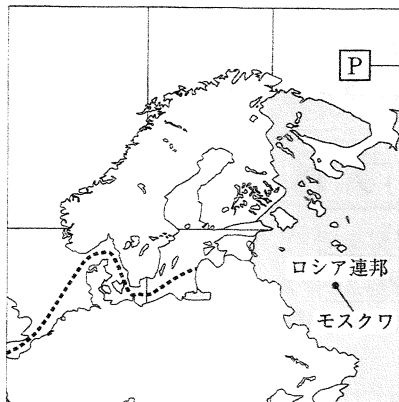


問1 次のメモは、日露戦争の日本海海戦について記したものである。また、略地図Ⅰ～Ⅳは、現在の世界の様々な地域を表しており、それぞれ緯線は赤道から15度ごと、経線は本初子午線から15度ごとに引かれ、同縮尺である。これらのメモ及び略地図Ⅰ～Ⅳについて、あとの各問いに答えなさい。

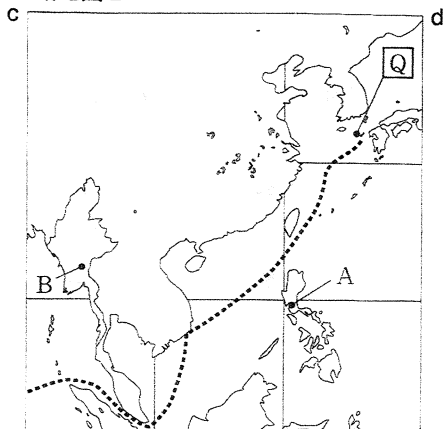
メモ

日本海海戦の直前に、ロシアの艦船から出る煙を見つけたという無線報告が、日本の戦艦からなされた。無線で報告があった時刻は、1905年①5月27日の午前4時45分で、無線が発信された位置は、およそ②東経128度、北緯33度だった。

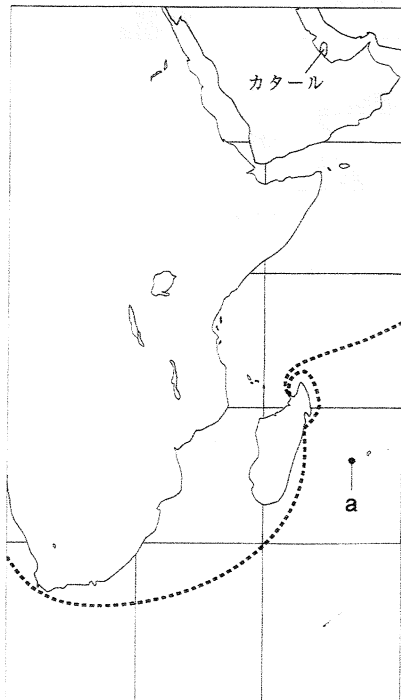
略地図Ⅰ



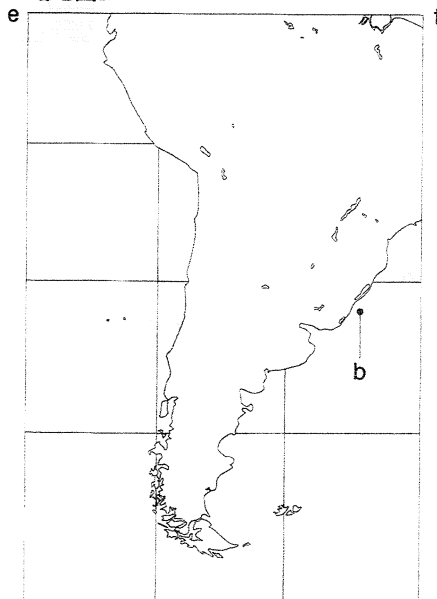
略地図Ⅱ



略地図Ⅲ



略地図Ⅳ



(ア) メモ中の——線①について、日本の時刻で5月27日午前4時45分のとき、略地図Ⅰの[P]で示した経線で標準時を決めている、現在のロシア連邦西部の日時として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。なお、サマータイムは考えないものとする。

1. 5月26日午後4時45分
2. 5月26日午後10時45分
3. 5月27日午前10時45分
4. 5月27日午後4時45分

(イ) メモ中の——線②について、次の[]中の[あ]、[い]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

東経128度、北緯33度は、略地図Ⅱに[Q]で示した地点であり、[Q]で示した地点から見て地球の中心を通った反対側にあたる地点は[あ]である。また、略地図Ⅱに示したc-dと略地図Ⅳに示したe-fとでは、実際の距離がより長いのは[い]の方である。

1. あ：略地図Ⅲのa い：c-d
2. あ：略地図Ⅲのa い：e-f
3. あ：略地図Ⅳのb い：c-d
4. あ：略地図Ⅳのb い：e-f

(ウ) 略地図Ⅰ、略地図Ⅱ、略地図Ⅲにある-----は、ロシアのパルチック艦隊の日本海海戦の戦場までの遠征航路を示したものである。艦隊が通過した順に並べたものとして最も適するものを、次の1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 略地図Ⅰ→略地図Ⅱ→略地図Ⅲ
2. 略地図Ⅰ→略地図Ⅲ→略地図Ⅱ
3. 略地図Ⅱ→略地図Ⅰ→略地図Ⅲ
4. 略地図Ⅱ→略地図Ⅲ→略地図Ⅰ
5. 略地図Ⅲ→略地図Ⅰ→略地図Ⅱ
6. 略地図Ⅲ→略地図Ⅱ→略地図Ⅰ

(エ) 次の表は、略地図Ⅰにあるロシア連邦及び略地図Ⅲにあるカタールの輸出品目をまとめたものである。表中の[う]にあてはまる品目として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表

ロシア連邦(2015年)		カタール(2016年)	
輸出額(百万ドル)		輸出額(百万ドル)	
原油	89,576	[う]	35,157
石油製品	68,287	原油	8,852
[う]	41,844	石油製品	2,731
その他	144,201	その他	10,571
合計	343,908	合計	57,311

(『世界国勢図会 2018/19年版』をもとに作成)

1. 石炭
2. 天然ガス
3. マンガン
4. クロム

問2 Kさんは、夏休みを利用して愛媛県について調べ、メモを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

愛媛県には、農業、水産業、工業において、それぞれみかん、真珠、①タオルと、全国有数の生産をあげている品目があります。タオルの製造の中心は、②しまなみ海道によって、海をはさんで向き合っている県と結ばれている今治市です。

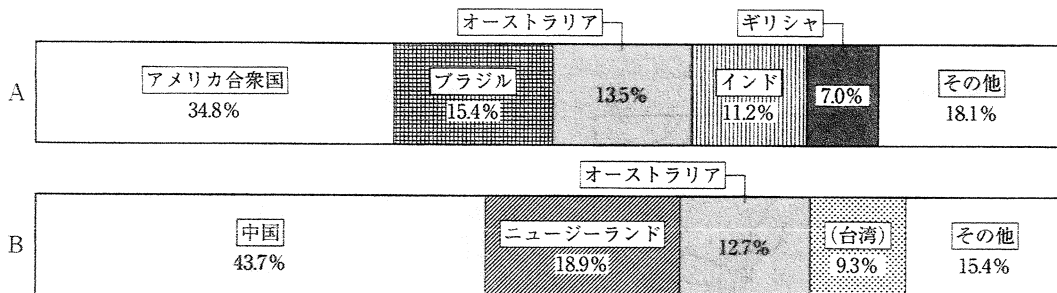
(ア) ——— 線①に関して、次の表は、今治市におけるタオル工業の企業数、従業員数、生産量を表したものである。また、グラフのうち、AとBは、日本の綿花または羊毛の輸入量に対する主な輸入先の割合のいずれかを表している。これらについて説明した、あとの[]中の「あ」「い」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表

	企業数	従業員数(人)	生産量(トン)
1998年	244	5,110	31,515
2018年	109	2,566	10,850

(今治タオル工業組合資料をもとに作成)

グラフ



(2017年)

(『日本国勢図会 2018/19年版』をもとに作成)

表からは、2018年は、1998年に比べて企業数と生産量は大きく減少し、1企業あたりの従業員数は「あ」したことがわかる。また、現在の日本はタオルの生産に必要な綿花の多くを輸入にたっており、グラフからは、「い」から最も多く輸入していることがわかる。

- | | | | |
|---------|------|---------|-----------|
| 1. あ：増加 | い：中国 | 2. あ：増加 | い：アメリカ合衆国 |
| 3. あ：減少 | い：中国 | 4. あ：減少 | い：アメリカ合衆国 |

(イ) ——— 線②に関して、しまなみ海道によって愛媛県今治市と結ばれている県として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大分県 | 2. 香川県 | 3. 山口県 | 4. 広島県 |
|--------|--------|--------|--------|

問2 Kさんは、夏休みを利用して愛媛県について調べ、メモを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

愛媛県には、農業、水産業、工業において、それぞれみかん、真珠、①タオルと、全国有数の生産をあげている品目があります。タオルの製造の中心は、②しまなみ海道によって、海をはさんで向き合っている県と結ばれている今治市です。

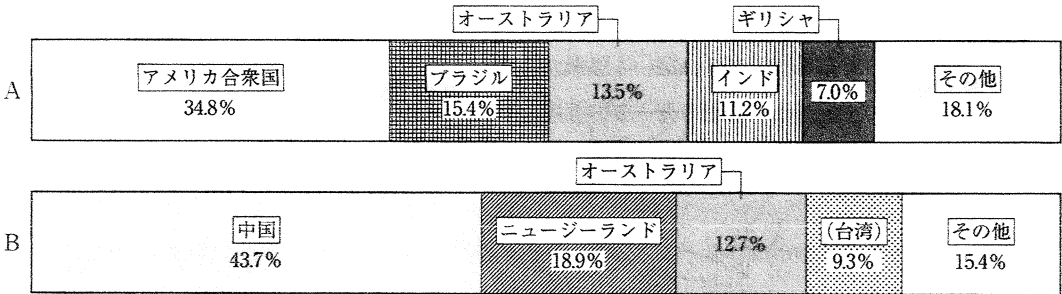
(ア) ——— 線①に関して、次の表は、今治市におけるタオル工業の企業数、従業員数、生産量を表したものである。また、グラフのうち、AとBは、日本の綿花または羊毛の輸入量に対する主な輸入先の割合のいずれかを表している。これらについて説明した、あとの[]中の[あ]、[い]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表

	企業数	従業員数(人)	生産量(トン)
1998年	244	5,110	31,515
2018年	109	2,566	10,850

(今治タオル工業組合資料をもとに作成)

グラフ



(2017年)

(『日本国勢図会 2018/19年版』をもとに作成)

表からは、2018年は、1998年に比べて企業数と生産量は大きく減少し、1企業あたりの従業員数は[あ]したことがわかる。また、現在の日本はタオルの生産に必要な綿花の多くを輸入にたよっており、グラフからは、[い]から最も多く輸入していることがわかる。

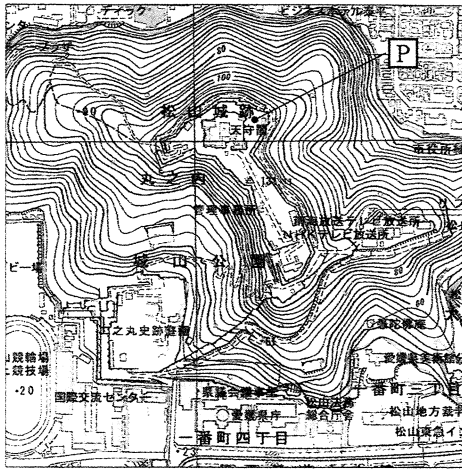
1. あ：増加 い：中国 2. あ：増加 い：アメリカ合衆国
3. あ：減少 い：中国 4. あ：減少 い：アメリカ合衆国

(イ) ——— 線②に関して、しまなみ海道によって愛媛県今治市と結ばれている県として最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

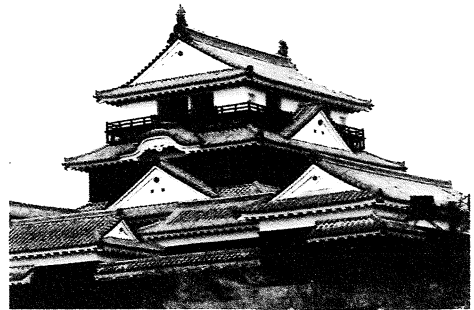
1. 大分県 2. 香川県 3. 山口県 4. 広島県

- (ウ) Kさんは、愛媛県の松山市について調べたことを発表するために、一辺の長さが7cmの正方形の地形図Ⅰ、地形図Ⅰ上の[P]で示した地点にある建造物を撮影した写真、地形図Ⅰで表された範囲を含む地形図Ⅱを用意した。これらに関して、あとの各問いに答えなさい。

地形図Ⅰ



写真



「1万分の1の地形図 国土地理院作成(2006年発行)」をもとに作成

地形図Ⅱ



「2万5千分の1の地形図 国土地理院作成(2016年発行)」をもとに作成

問3 Kさんは、貨幣に関するできごとの中からいくつかを選び、おきた順に並べた表を作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

表

貨幣に関するできごと	
唐にならって① ^{わとうかいちん} 和同開珎 ^{ほう} が発行された。	↑ X ↓ Y ↓
律令国家の最後の貨幣である乾元大宝 ^{けんげんたいほう} が、② ^{むらかみ} 村上天皇のころに発行された。	
③戦国大名が貨幣の原料となる鉱物を求めて鉱山の開発に力を入れた。	
④ ^{つなよし} 徳川綱吉が貨幣の質を落として発行量を増やし、幕府の収入を増やそうとした。	

(ア) ——線①に関して、このとき以降のできごとを説明した次の1～5について、古いものから順に並べたときに4番目にあたるものの番号を答えなさい。

1. 京都では、利子を取って金を貸す土倉や酒屋という金融業者が盛んに活動した。
2. 江戸幕府が主な鉱山を直接に支配し、貨幣を発行する権利を独占した。
3. ^{たいへきよもり}平清盛が中国の宋との貿易を盛んにし、大量の銅銭を輸入した。
4. 寺社の門前や交通の要所で定期市が開かれるようになり、取り引きに貨幣が使われた。
5. ^{とよとみひでよし}豊臣秀吉が^{てんしやう}天正大判とよばれる大型の金貨をつくらせた。

(イ) 次の資料Ⅰ・資料Ⅱは、それぞれ表中Xの期間に編さんされた和歌集に収められた和歌であり、資料Ⅰは『万葉集』、資料Ⅱは『古今和歌集』からとったものである。これら二首の和歌の表記の違いについて説明した、あとの[]中の[あ]にあてはまる語句を、資料Ⅰの和歌の漢字の読みに着目して6字以内で書き、[い]にあてはまるものとして最も適するものをAまたはBから選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅰ

わがそのに	うめのはなをちる	ひさかたの	あめよりゆきの	なかれくるかも
和何則能余	宇米能波奈知流	比佐可多能	阿米欲里由吉能	那何列久流加母
(意味：私の庭に梅の花が散る。天の果てから雪が流れ来るように。)				おおもものたびと 大伴旅人

(『万葉集』巻第五)

資料Ⅱ

花の色は移りにけりないたづらに	わが身世にふるながめせしまに
(意味：花は色あせてしまった。長雨の中、私が物思いにふけっている間に。)	
おののこまち 小野小町	

(『古今和歌集』春下)

資料Ⅰの和歌は、漢字の[あ]し、漢字そのものの意味は無視した万葉仮名で書かれているが、資料Ⅱの和歌は、漢字と、[い]仮名文字をまじえた表記になっている。

- A. 漢字を变形してつくられた
- B. ものの形をかたどってつくられた

- (ウ) —— 線②に関して、次の資料Ⅲは、村上天皇の在位中に生まれた藤原道長が、自らの権勢をほこってよんだ和歌である。この和歌がよまれた背景について説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料Ⅲ

この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思へば (『小右記』)

1. 律令政治を立て直すために、都を平城京から長岡京へ、さらに平安京へ移した。
2. 三人目の娘を天皇のきさきにつけて天皇との血縁関係を深め、一族の政治勢力を拡大した。
3. 全国各地の公領や荘園を支配するとともに、天皇との関係を深め、初めての武士の政権をつくった。
4. 上皇が兵を挙げると配下の武士に結束をうったえ、上皇の軍を破り、西日本にも支配を広めた。

- (エ) 表中[Y]の期間に開かれた仏教の宗派のうち、禅宗の宗派とその開祖の組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| 1. 臨済宗：栄西 | 曹洞宗：道元 | 2. 臨済宗：栄西 | 日蓮宗：日蓮 |
| 3. 浄土真宗：親鸞 | 曹洞宗：道元 | 4. 浄土真宗：親鸞 | 日蓮宗：日蓮 |

- (オ) —— 線③に関して、戦国大名の今川氏が定めた次の資料Ⅳの法令について説明した、あとの中のうにあてはまる語句を漢字3字で書き、えにあてはまるものとして最も適するものをA～Cから一つ選び、その記号を書きなさい。

資料Ⅳ

一 *駿・遠両国の輩、或*わたくしとして他国よりよめを取、或ハむこに取、むすめをつかハす事、自今以後これを停止し畢んぬ

*駿・遠両国：駿河と遠江(静岡県)。今川氏の領地 *わたくしとして：勝手に
(『今川板名目録』)

戦国大名の中には、資料Ⅳのようなうとよばれる、独自の法令を定める者もあった。資料Ⅳの条項は、家臣がえ動きを取りしめる目的があった。

- A. 主君に服従する見返りに財産を守ってもらおうとする
- B. 国司に任命されても任地におもむかず、代理の者を送って収入だけを得る
- C. 主君にそむいてその地位をうばおうとする

- (カ) —— 線④に関して、この頃の、世界の様子と国民の権利に関するできごとを説明したものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

世界の様子	A：イギリスで、政治の伝統や法を守らない国王を議会が追放して、新しい王をむかえた。 B：フランスで、重税を課すなどした王政に不満をつのらせた国民が革命をおこした。	できごと	a：国民議会が、自由・平等、私有財産の尊重などを定めた人権宣言を発表した。 b：国民の権利や議会の権限を確認した「権利(の)章典」が定められた。
-------	---	------	--

1. Aとa
2. Aとb
3. Bとa
4. Bとb

問4 Kさんは、近代以降の日本の政治や外交上のできごとの中からいくつかを選び、カードⅠ～Ⅲを作成した。これらについて、あとの各問いに答えなさい。

カードⅠ

19世紀後半には、①明治維新の変革が始まり、政治や社会のしくみが変わった。

カードⅡ

19世紀末から②20世紀前半にかけては、③外国との戦争が続いた。

カードⅢ

④20世紀半ば、戦争に敗れた日本は⑤外国軍に占領され、戦後日本のあゆみが始まった。

(ア) ——線①に関して、あとの各問いに答えなさい。

- (i) 明治維新の変革の一つについて説明した、次の[]中の[あ]、[い]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

明治政府は[あ]を行い、収入が不安定であった江戸時代までの年貢を改め、[い]納めさせたことから、財政が安定した。

1. あ：地租改正 い：地価の一定割合を現金で
 2. あ：地租改正 い：収穫量の一定割合を現物で
 3. あ：農地改革 い：地価の一定割合を現金で
 4. あ：農地改革 い：収穫量の一定割合を現物で
- (ii) 次の[]中の[う]にあてはまるものとして最も適するものを、あとのA～Dから一つ選び、その記号を書き、[え]にあてはまる語句を漢字2字で書きなさい。

明治政府が[う]ことを不満とした士族が西日本の各地で反乱をおこしたが、中でも最大の規模となった[え]戦争が政府軍に鎮圧されると、士族の反乱は終息した。

- A. 施設を関係者に不当に安い価格で払い下げた
- B. 旧幕府軍を攻めて降伏させた
- C. 天皇の許可なく通商条約を結んだ
- D. 士族の特権を次々に廃止した

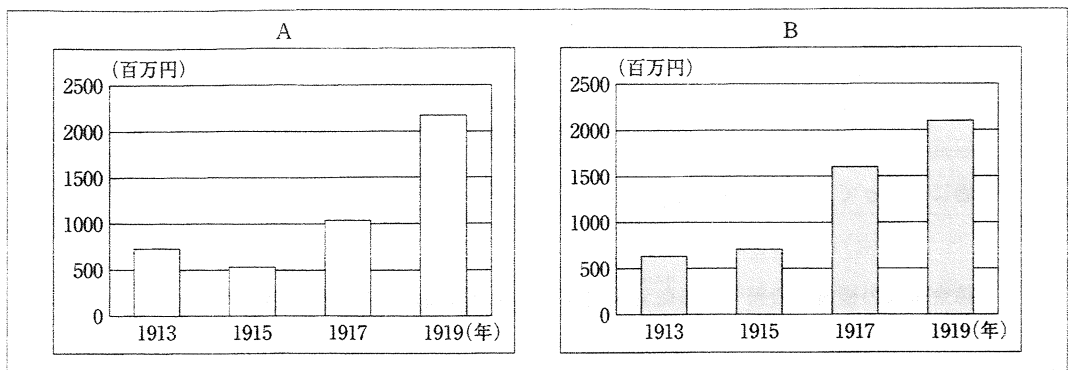
(イ) ——線②に関して、次の[]中のa～cについて古いものから順に並べたものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a. アメリカの株式市場で株価が暴落して始まった世界恐慌の影響を受けて、昭和恐慌となった。
- b. 海軍の青年将校などが首相官邸をおそい、大養毅首相を暗殺した。
- c. 中国東北部での権益を確保しようとした日本軍が満州事変をおこした。

1. a→b→c
2. a→c→b
3. b→a→c
4. b→c→a
5. c→a→b
6. c→b→a

(ウ) ——線③に関して、次のページのグラフは、日本の貿易について、AまたはBのいずれかで、輸出額と輸入額を表している。これについて説明した、あとの[]中の[お]、[か]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ



(『数字でみる 日本の100年 改訂第6版』をもとに作成)

グラフからは、おの期間に、日本の輸出額が輸入額をかことがわかり、日本が好景気にわいていたことが予想できる。

1. お：韓国併合 か：下回っていた
2. お：韓国併合 か：上回っていた
3. お：第一次世界大戦 か：下回っていた
4. お：第一次世界大戦 か：上回っていた

(エ) ——— 線④に関して、次の資料Ⅰ、資料Ⅱは、20世紀半ばに日本が戦争に敗れた前後にソビエト連邦(ソ連)との間に交わした外交文書の一部である。資料中のき～けにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料Ⅰ (1941年4月調印)

資料Ⅱ

(1956年10月調印)

第二条 締約国ノ一方カ又ハ
二以上ノ第三国ヨリノ軍事行動ノ対象ト為ル場合ニハ、他
方締約国ハ該紛争ノ全期間中
きヲ守ルヘシ

一 日本国とソヴィエト社会主義共和国連邦との間のく状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間に平和及び友好善隣関係が回復される。
四 ソヴィエト社会主義共和国連邦は、けへの加入に関する日本国の申請を支持するものとする。

(『日本外交年表並主要文書』)

(『日本外交主要文書・年表』)

1. き：中立 く：戦争 け：国際連盟
2. き：中立 く：戦争 け：国際連合
3. き：中立 く：同盟 け：国際連盟
4. き：中立 く：同盟 け：国際連合
5. き：同盟 く：戦争 け：国際連盟
6. き：同盟 く：戦争 け：国際連合
7. き：同盟 く：同盟 け：国際連盟
8. き：同盟 く：同盟 け：国際連合

(オ) ——— 線⑤に関して、外国軍による日本の占領が始まった以降のできごとを説明したものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 共産主義に対する取りしまりを強化するために治安維持法が制定された。
2. 普通選挙法が制定され、満25歳以上のすべての男子が選挙権を得た。
3. 国家総動員法が制定され、政府が議会の議決を経ずに国民や物資を動員できるようになった。
4. 民法が改正され、個人の尊厳と男女の本質的平等にもとづく家族制度が定められた。